 呉工業高等専門学校			開講年度	令和04年度(2	0022年度)	授業科目	現代文Ⅲ				
		<u> </u>	<u>Σίτ ετ</u> ατίτι	JJ/IJO 十人文 (2		JX X IIII	701 V/A III				
科目番号	WHEIL THE	0029			科目区分	一般 / 選					
授業形態		講義			単位の種別と単位数						
開設学科		機械工学	—————————————————————————————————————		対象学年	2	-				
開設期		前期			週時間数	2					
教科書/教	对		国語総合 現代文編 学習社)	』(数研出版)『フ	プレミアムカラー 国		出版)『新版 チャレンジ常用漢字				
担当教員		福田 涼									
到達目標	 票	•									
1.日本語 2.様々な	で書かれた 文章につい 作家と作品	文章(評論文 て批判的に思 、およびそれ	く・文芸作品等)をはまり、を思考・考察した上で、1らが書かれた時代に	的確に読解できる。 、自らの見解を的確 について、的確かつ	に表現できる。 簡潔に説明できる。						
<i>// /</i> :	<u> </u>		理想的な到達レ	ベルの日安	標準的な到達レベル	日安					
評価項目:	1		日本語で書かれた	大文章(評論文・ 的確に読解できる	日本語で書かれた文文芸作品等)を読	で章(評論文・	日本語で書かれた文章 (評論文・ 文芸作品等)を読解することがで きない。				
評価項目2	2			いて批判的に思考 、自らの見解を的 。	様々な文章について ・考察した上で、自 現できる。	批判的に思考 Bらの見解を表	様々な文章について批判的に思考 ・考察することや、自らの見解を 的確に表現することができない。				
評価項目	-		説明できる。	品、およびそれら について、簡潔に	主要な作家と作品、が書かれた時代にて 説明できる。	およびそれら いて、簡潔に	主要な作家と作品、およびそれら が書かれた時代について、説明す ることができない。				
学科の致	到達目標項	頁目との関	係								
学習・教育	育到達度目標	票 本科の学習	習・教育目標 (HA)								
教育方法	去等										
概要		教科書に	掲載されている評論	・小説・詩歌等の	精読とそれに基づく		して、日本語で書かれた文章を的確				
	め方・方法	担当教員 で、漢字		また自らの思考を的確に表現するための能力・技術を涵養する。 よる講義を中心とし、適宜グループワークやディスカッション等の活動も導入する。また毎週の授業の冒頭 ストを実施する。							
		授業ノー	ト・プリント・漢字	ナウイルスの影響により、授業内容を変更する可能性がある。 ・プリント・漢字ドリル等は定期的に回収し、成績評価の対象とする。また受講態度が不適切である場合、 するので注意すること。受講者一人ひとりの主体的な授業参加を期待している。							
控業の同	記述 定点	-		ここ。文碑有 人(いとりの土体的な技芸	長参加を知付し	Cua.				
		<u>多上の区分</u>									
□ アクラ	ティブラーニ	_ンツ	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業				
授業計画	———— Į										
		週	授業内容		週	ごとの到達目標					
		1週	**********								
		1,00	森岡正博 無痛化する。 1段落を読解する。	する社会のゆくえ」	(評論)の第 挙 2.	「無痛化」とい げながら簡潔に	・ いう造語の内容について、適切な例を				
1		2週		する社会のゆくえ」	(評論) の第	「無痛化」とい げながら簡潔に 論説文における て説明できる。 主な常用漢字の 今日の「文明」 して多角的に思	う造語の内容について、適切な例を 説明できる。 問題提起の方法について、本文に即 読み書きができる。 と「技術」の関係について、本文に まできる。				
		2週	1 段落を読解する。 森岡正博「無痛化す	する社会のゆくえ」	(評論)の第 2.し (評論)の第 1. 2.即 (評論)の第 -で 3.	「け論語」といる。 (は) といる。 (は) に)	う造語の内容について、適切な例を 説明できる。 問題提起の方法について、本文に即 読み書きができる。 と「技術」の関係について、本文に				
	1stQ	2週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化す 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化す	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 むものなのか」(評	(評論)の第 学 2. U 1. (評論)の第 2. U 1. 2. U 2. U 2. U 3. S 5	「 () とい。 () とい。 () とい。 () に。 () に 。 (のう造語の内容について、適切な例を 説明できる。 問題提起の方法について、本文に即 読み書きができる。 と「技術」の関係について、本文に ま考できる。 記み書きができる。 」」「大衆化」「無痛化」といったキ がら、著者の見解を要約することが				
前期	1stQ	2週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 3段落を読解する。 柳澤桂子「命は誰の	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 のものなのか」(評 する。	(評論) の第 2. U (評論) の第 1. 2. 即 1. 2. で 3. ら 2. で 3. ら 2. で 3. ら 2. のと 2. のと 2. のよ 2. のよ 2. のま 2.	「け論で、主今し、主で、 無な説明、常の多と、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	う造語の内容について、適切な例を説明できる。問題提起の方法について、本文に即読み書きができる。と「技術」の関係について、本文にまずできる。 「大衆化」「無痛化」といったキがら、著者の見解を要約することがのいて、本文に即して自他者の意見を傾聴ことができる。				
前期	1stQ	2週 3週 4週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 3段落を読解する。 柳澤桂子「命は誰の 1~2段落を読解する。 柳澤桂子「命は誰の 2~3段落を読解する。	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 Dものなのか」(評する。 Dものなのか」(評する。	(評論) の第 2.し (評論) の第 1. (評論) の第 2.即 (評論) の第 2.のと 論) の第 1. 2.り 論) の第 2.かと	「け論で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	う造語の内容について、適切な例を説明できる。問題提起の方法について、本文に即読み書きができる。と「技術」の関係について、本文に表すきる。別」「大衆化」「無痛化」といったキがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解をできる。別代文明」について、本文に即して自他者の意見を傾聴ことができる。説み書きができる。の問題について、本文やそび、自分なりに思考を深化させるこ。読み書きができる。。 読み書きができる。。				
前期	1stQ	2週 3週 4週 5週 6週 7週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化で 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化で 3段落を読解する。 柳澤桂子「命は誰の 1~2段落を読解で 柳澤桂子「命は誰の 2~3段落を読解で	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 Dものなのか」(評する。 Dものなのか」(評する。	(評論) の第 2.し (評論) の第 1. (評論) の第 2.即 (評論) の第 2.のと 論) の第 1. 2.り 論) の第 2.かと	「げ論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主「り論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主」の、表示の、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、の、と、ない、の、の、と、ない。の、それ、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の	う造語の内容について、適切な例を説明できる。問題提起の方法について、本文に即読み書きができる。と「技術」の関係について、本文に表すきる。別」「大衆化」「無痛化」といったキがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解をできる。別代文明」について、本文に即して自他者の意見を傾聴ことができる。説み書きができる。の問題について、本文やそこまみ書きができる。の問題について分からことができる。				
前期	1stQ	2週 3週 4週 5週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化る。 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化る。 3段落を読解する。 柳澤桂子段落を読解する。 柳澤桂子段落「命は誰の 2~3段 柳澤桂子段落を読解する。	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 Dものなのか」(評する。 Dものなのか」(評する。	(評論) の第 2.し (評論) の第 1. (評論) の第 2.即 (評論) の第 2.のと 論) の第 1. 2.り 論) の第 2.かと	「げ論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主「り論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主」の、表示の、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、と、ない、の、の、と、ない、の、の、と、ない。の、それ、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の	う造語の内容について、適切な例を説明できる。問題提起の方法について、本文に即読み書きができる。と「技術」の関係について、本文に表すきる。別」「大衆化」「無痛化」といったキがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解をできる。別代文明」について、本文に即して自他者の意見を傾聴ことができる。説み書きができる。の問題について、本文やそこまみ書きができる。の問題について分からことができる。				
前期		2週 3週 4週 5週 6週 7週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 3段落を読解する。 柳澤桂子段落を読解する。 柳澤桂子段落を読解する。 柳澤桂子段落を読解する。 柳澤桂子段落を読解する。 柳澤桂子段落を読解する。 前期中間試験	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 のものなのか」(評 する。 のものなのか」(評 する。	(評論) の第 2.U 1.2.p 1.2.p 1.2.の	「げ論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主「りの、主明で、「が論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主」の多、常の多、常明と、痛がくにで、用「角、用」を、化を、用死例さ、用っジ、常に調見、常い、で、しばる。。の」見、の様な、、のし、はです。 できん こうしょう いんしょう はんしょう いんしょう にんしょう いんしょう いんしょく いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょく はんしょく いんしょく いんしんしんしょく いんしょく いんしょく いんしょく いんしょく いんしんしん いんしん いんしょく いんしんしょく いんしんしょく いんしんしんしんしんしんしんしんしんしん いんしんしんしんしん	う造語の内容について、適切な例を説明できる。問題提起の方法について、本文に即読み書きができる。と「技術」の関係について、本文に表すきる。「対策」の関係について、本文に思えてきる。「対策」といったキがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解をできる。同様な明」について、本文やその問題について、本文やそいて、自分なりに思考を深化させるこ。読み書きができる。のできる。のできる。のできる。のできる。				
前期	1stQ 2ndQ	2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	1段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 2段落を読解する。 森岡正博「無痛化する。 森岡正博「無痛化する。 森岡正博「無痛化する。 柳澤桂子「命は誰の1~2段落を読解する。 柳澤桂子 「奈を読解する。 柳澤桂子 「奈を読解する。 柳澤桂子 「京を読解する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	する社会のゆくえ」 する社会のゆくえ」 かものなのか」(評する。 かものなのか」(評する。 いものなのか」(評する。 (明治・大正期)	(評論) の第 2.し (評論) の第 1.2.中で3.ら (評論) の第 1.2.のと 1.2.のと 1.2.のよ 2.の第 2.のと 1.2.のよ 1.2.のま 1.2.のま 2.のま 1.2.のま 2.のま 1.2.のま 2.のま 2.のま 3.ら 1.2.のま 3.ら 2.のま 3.ら 3.ら 3.ら 3.ら 4.0の第 3.ら 4.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.0の第 3.008 3.	「げ論で、主今し、主「ワき」の、主「他が、主文や、主「りの 主明でそ説、主昭で無な説説、な日て、な文」の無見、な安ので、な萱す、な死に意 な治され明、な和き、痛がくにで、用「角、用」を、化を、用死例る、用の説、用対べを 用、多ずい、で、用、の、漢で、の、で、字の、に、漢表明、漢す、傾 漢正 のる 漢降しばる。 の」見、のが、 の しばる。 の り見、のが、 の しばる。 の 見、とない、 の しばる。 の り見、の の に、 この に、 こ	う造語の内容について、適切な例を説明できる。 問題提起の方法について、本文に即読み書きができる。と「技術」の関係について、本文に表すきる。 「対策の書きができる。」「無痛化」といったキンがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することがら、著者の見解を要約することができる。 は、文明」について、本文に即して自他者の意見を傾聴ことができる。 は、み書きができる。 は、み書きができる。 は、み書きができる。 は、み書きができる。 は、お書きができる。 は、ことができる。 は、ことができる。 は、ことができる。 は、ことができる。				

		11週		田宮虎彦「沖縄の手記から」(小説)の第1段落を読 解する。 1.主な常用漢字の読み書きた。 2.アジア・太平洋戦争末期の明できる。 3.冒頭部における物語の展開できる。					戦争末期の	状況につい	
		12返	13週 田宮原		田宮虎彦「沖縄の手記から」(小説)の第2段落を読 2.「私」と「娘」が置かれてい に即して説明できる。					できる。 いる状況に	ついて、本文
		13返			田宮虎彦「沖縄の手記から」(小説)の第3段落を読 2.「私」と「娘」の描かれ方 なする。 1.主な常用漢字の読み書きが 2.「私」と「娘」の描かれ方 、簡潔に説明できる。				できる。 や、その関	係性について	
		14退	3	田宮原解する		1.主な常用漢字の読み書き 手記から」(小説)の第4段落を読 2.作品(掲載部)全体の内 争」、あるいは「戦争文学 述べ、他者の意見を傾聴す			è体の内容 戦争文学」	を踏まえて、 について、	本作や「戦自らの見解を
		15返	<u> </u>	抽≠≋	#ER	一				<u></u>	് .
		16退		期末試験 答案返却・解説							
16週											
分類	プラフィ		<u>ノムい</u> 分野	ナロ	学習内容	:ロ1宗 学習内容の到達目標	5			到達レベル	授業週
刀块			<i>/</i> ノノ±3′		于自四台	于自约台00到建日信	₹			封建レ/ ソル	前1,前2,前
					国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約で きる。 				3	3,前5,前6,前7,前8
			会国語			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の 妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。				3	前3,前6
						文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。				3	前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14,前15,前 16
						常用漢字の音訓を正	漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。				前2,前3,前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14,前15,前 16
				語		類義語・対義語を思考や表現に活用できる。			3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 15,前16	
基礎的能力	人文・社 科学	会				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。				3	前4,前5,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16
						専門の分野に関する	5用語を思考や表現	記に活用できる。		3	前1,前2,前 3,前4,前 6,前7,前8
						実用的な文章(手紙を用いて作成できる	, ·			3	
						報告・論文の目的に 情報を収集できる。			ら適切な	3	前6
					1 1	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。				3	前6
						報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わる ように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。				3	
					作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。				3	前3,前6,前 14	
						課題に応じ、根拠に	基づいて議論でき			3	前2,前3,前 6,前12,前 13
						相手の立場や考えを や考えをまとめるこ	ことができる。			3	前3,前6,前14
						新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理 するための手法を実践できる。				3	前3,前4,前 6,前14
評価割合											
試験			発	表	相互評価態度		ポートフォリオ その他		合	it	
総合評価割合 70				0		0	0	30	0	10	0
基礎的能力 70		70		0		0	0	30	0	10	0

 専門的能力
 0

 分野横断的能力
 0